



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 佐渡市両津総合体育館
 試合区分： 成年男子 準決勝
 開催期日： 2009年10月4日(日)
 開始時間： 11:55

GAME No. 1004A2

主審： 高橋 伸次
 副審： 小菅 学

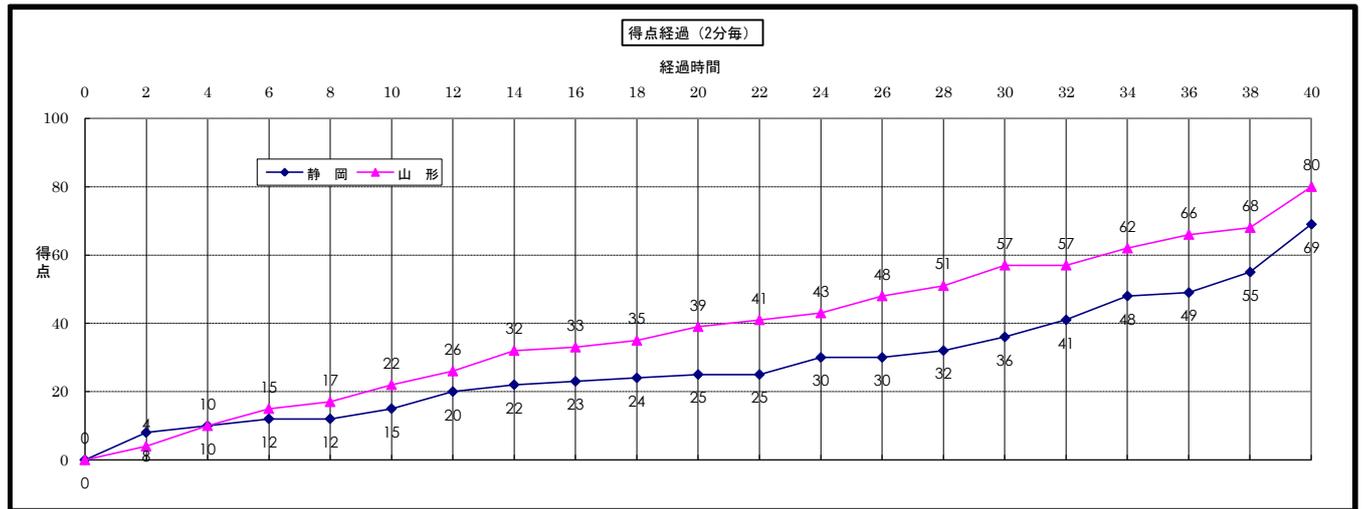
Team A	●	15 -1st- 22 10 -2nd- 17 11 -3rd- 18 33 -4th- 23	○	Team B
静岡	69		80	山形

TEAM A		静岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	内山 貴敏	14	2	4	0	4
5		永田 道夫	0	0	0	0	0
6		太田 友和	4	0	2	0	0
7		山本 剛	-	-	-	-	-
8		江崎 猛	0	0	0	0	1
9		阿形 陽児	0	0	0	0	1
10	*	澤木 渉	3	0	1	1	2
11	*	菅川 浩樹	11	0	3	5	4
12	*	田中 健介	8	2	1	0	5
13		伊藤 健太	6	2	0	0	5
14		大石 慎之介	10	1	3	1	4
15	*	飯田 貴大	13	1	3	4	4
Coach		江崎 猛					0
TOTAL			69	8	17	11	30

TEAM B		山形					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	笹原 慎也	4	0	2	0	1
5	*	伊藤 和哉	10	0	3	4	4
6	*	橋本 伸広	14	0	5	4	3
7		小野 学	12	0	4	4	0
8	*	中村 裕紀	17	3	2	4	1
9		斎藤 剛	0	0	0	0	2
10	*	阿部 一貴	3	0	0	3	1
11		関野 尚也	11	2	2	1	3
12		五十嵐 裕也	7	0	0	7	2
13		荒木 直人	2	0	1	0	0
14		古瀬 矩嵩	0	0	0	0	1
15		太田 真司	-	-	-	-	-
Coach		小野 賢一郎					0
TOTAL			80	5	19	27	18

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	13:43	-	25:06	37:44 38:56		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	14:43	-	39:39	- -		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

大会3日目の準決勝は、接戦を制し勝ち上がった静岡に対し、中外に点を取れる選手をそろえる山形との対戦。
 1Q、両チームともディフェンスはマンツーマンでスタート。山形は、#5伊藤、#6橋本の高さを生かしたインサイドで得点を重ねる。一方、静岡は#15飯田、#4内山の3Pシュートが連続して決まるも、その後アウトサイドシュートがリングに嫌われ思うように加点できない。15-22の山形7点リードで終わる。
 2Q、山形は#7小野のミドルシュート、#6橋本のポストプレーと、インサイドを中心に決める。攻めあぐねる静岡は、残り4分のタイムアウト後、引き気味に守りインサイドを警戒するが、山形は徐々に点差を広げ、39-25で後半に折り返す。
 3Q、14点差を追う静岡は、ゲームをペースダウンさせチャンスを狙う。山形のインサイドに対しプレッシャーをかけ簡単に得点させない。この間に#12田中の3Pシュート、セットプレーから#4内山、終了間際に#6太田がジャンプシュートを決める。しかし、ようやくあたりが出始めた山形#8中村が、3連続で3Pシュートを決めさらに点差を引き離す。36-57と21点差で最後のクォーターを迎える。
 4Q、後がなくなってきた静岡は、序盤からオールコートマンツーマンでプレスを仕掛ける。静岡#14大石の速攻・3Pシュート、#15飯田のインサイドなど静岡ペースで進め、このクォーター33得点と健闘を見せる。さらに、タイムアウト、ファールで時間を止めチャンスを作ると残り数秒で7点差まで詰め寄る。しかし、山形はあわてずフリースローを決め、時間をゆっくり使いきると80-69と危なげなく勝利のものにする。決勝に駒を進めた山形は、明日地元新潟と頂点をかけての戦いに挑む。

記載責任者	羽生 喜國 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	------------	---------------